本草圖譜

濕草類 草之三至十五

太政官文庫
和書門
類 八三四四
函
架 二八
冊

内閣文庫
和書
類 八三四四號
冊 二八
函 九六
架 二三

内閣文庫
番號 和 8344
冊數 28 (4)
函號 196 191

国立公文書館
National Archives of Japan

本草圖譜巻之十三目録

濕草類

甘菊	一種	二
秋菊	一種 花瓣平なるもの	三
夏菊	中ぎく 四	
	ちりぎく 三種	五
ぎん菊	三種	六
滿天星	洋菊	七
	六種	八
	同	九
茶菊	一種	十
野菊	龍脳菊	十一
	おかき菊	十二
	一種 花瓣なれるもの	十三
	二種	十四
	わふらぎく	十五

一種　をうんだのきく

一種　和州産　十

菴蕳　ぬよろぎ

一種　深紅花の物

一種　そざろもどき

一種　伊吹よろぎ

一種　ちろめんよろぎ

一種　細葉の物　十五

一種

一種　朝鮮種

蒼　のこぎろ　十一

一種　白花の物　十二

艾　蕲艾　十三

一種　もちぐさ　十四

一種　ひめよろぎ

一種　やまよろぎ

蘘荷　みょうが

千年艾　ちぐさぎく

一種　圓葉の物　十六

本草圖譜卷之十三

濕草類

東都
岩崎常正　著

甘菊（かんぎく）

秋菊の類にして高さ三四尺九月花さく瓣筒様にして黄色千葉心匂一瓣の本筒にして末五ツに切るのみ味甘し薬用食用ともおよそ塩蔵にして久く色味いを變ぜざるを以此種を壽命菊とよぶ

一種

花瓣平ラカニシテ
サマザマノアリ以上三
種苦味ナク味甘シ
弘景ノ説ニ為真
菊トシテ
[illegible]

一種

花瓣平ラカニシテ
サマザマノアリ

秋菊　ちろぎく

形甘菊小似て高さ四五尺漢種りう和産種類甚多一實を植て花色変じ少く其名数知べからず菊經小詳なり漢土にて范成大菊譜康熙菊譜花史左編群芳譜秘傳花鏡等小種類の名を擧ぐ

此種いろいろ

龍圖閣藏

一種　りうのうぎく

山生の白菊なり美濃派近江下野足尾武州多摩川其外諸國山中ふかり丹波亀山の産花大なり高さ二尺許葉小く香氣龍腦小似たり康熙菊譜に載る龍腦菊又小銀臺と云是なりまた蘋頌説とろの白菊の類なり

夏菊

秋菊の類にて早く花を開くものにて培養よろしく三四月花さく黄紅の數色にて時珍説もろの夏菊と

なつぎく

なまのと

龍園閣藏

洋菊　御製詩集　おかき

形秋菊小似て花大なり實を植て花色変じ又も秋菊より種類少し

此種ハふきだまり

龍園閣藏

小さんと云

くまと云

くろと云

八十八夜小花開くゆゑ
八十八夜とも名づけ苗を
一尺餘りて花いく花
色紅黄白の三種あり
て皆花瓣筒様なり

ふぐん菊
三種

龍園閲藏
浦圃陳蕃

滿天星　まんぎく

まんぎく

きんめぬき　千葉黄色

きんめぬき　紅黄絞り

苗葉稍小にして花大さ小銭の如く此類数種あり皆群芳譜に云滿天星なり

なやのめ　單瓣にして紅色黄心なり

茶菊　ちゃぎく

かんぎく　白くんぎく

高さ二尺許枝多く十月花を開く單瓣黄心なり葉霜をかむりて紅色ふるひ一種近年白瓣にして黄心のかんぎくあり此品時珍説の冬菊なり明の灌園草木識に菊一種冬月開黄花如錢而厚者爛煑此茶菊也採花蒸可點茶と云ふなり

一種　らんじゃたい
千葉黄色ゐて花葉の香氣馥郁常の品ふ異なり

一種　るそんぎく
千葉ゐて花辨巻る如花色黄白二品あり

白るそんぎく

一種　をらんだのぎく
莖高さ一尺ふ過じ葉ハ野菊ふ似て細く花りふろり

野菊　いちらぎく
山野道傍自生多ゐ故ふ野菊とり葉ハ秋菊ふ似て切ゝ多ゐ花ハ稍小く單辨黄色ゐて味苦ゐ

一種

朝鮮種の野菊より高さ三尺葉甘菊に似て切ざきより野菊より美し

一種

和州吉野の産葉は秋菊に似花は野菊の如し

一種

葉小鋸歯ありて切ざきのありて馬鞭草の葉に似るものあり

著　のぎりさう

人家ニ移シ栽ル春宿根より数十莖を生ず葉ハ細長クして周りニ鋸の齒の如し高さ三四尺許夏月梢ニ五六瓣の小花集り開く淡紅色ニして黄心ある實ハ艾の實ニ似たり

菴蘭　いねよりき

奥州石山播州江州の山中ニ自生ス一名ふさよもぎと云信州水内郡戸隱山下野足尾ニもいづと廻村雜記ニ見えり春宿根より生ず莖ハ艾の如く高さ二尺許葉ハ菊ニ似て厚シ又一ツきくよもぎと云穗ハ艾ニ似て小黄花を開く實も艾と同じ

武州行德海邊ニ
自生するもの八白花
あり

一種

一種

深紅色のものハ北國
ニ自生するとぞ

一種

えざろりさう

苗葉ともにかさゝうよう菜より弱く葉の鋸歯細く下に垂花白色にて小さく

艾

よもぎ

種類多く山野に自生多し凡艾の葉は菊に似て狹く尖りて面緑色にして背に白毛ありて秋月莖高さ二三尺梢に穗をなし形青蒿に似て粗く苗葉を採乾して灸を製す又秋月枝幹の間に堰りを生ず草綿の如くなるを蒿艾本草和名と云茲に圖する處は江戸駒場の官園にうえて蘄艾と称するものなり華更花木考に云蘄艾葉厚而綿多本地所有者葉薄而綿少と云り

一種　伊吹よもぎ

尋常の品より葉狹長鋸齒少く穗散乱せず大和本草に野山ものの原名産ともいふ是二種北艾の類にて藥用とす

一種

田野に生ずるもの葉淡緑色にして大に背の白毛少きもの是海艾の類也餅に雜へ食ふ故にもちぐさといふ

一種　ちりめよもぎ

海艾などの類にて葉の周背より面の方へ巻り

一種　えぞよもぎ

山野小生ず葉甚さ細く荊艾葉の如く花實よりまろ異るのみ是蝦荒本草の野艾蒿ならん

一種

細葉の物

田葉のものハ紀州熊野小産にて葉ハ絲艾茵蔯の嫩葉ニ似て花實ハよもぎニ同し

一種

よもぎよりも

尾州より来る葉柳ニ似ろ名なく宿根より生ひ高さ二尺許花實ハ「味皆艾の如し」く柿色なり

蕙蒿

ぬまよろぎ

一種

圓葉ぬよろぎ

佐渡小多くとも葉甚さ濶大ありて背白く莖高さ四五尺花實却て艾よりも小さく陸璣が詩疏に蕙蒿其葉似艾白色長數寸高丈餘好生水邊及澤中と云是なり

澤蘭

本草圖譜卷之十四目録

濕草類

茵蔯蒿 かさらよもぎ 一
青蒿 のぶんぎん 二
黄花蒿 くそぶんぎん 三
白蒿 あさもちぐさ 四
蒿 かうこうさい 三種 五
一種 おおかま 六
馬先蒿 きせわう 七
一種 もろよもぎ
蘭蒿 たんぶひあさぐ
角蒿 ヘイベリキュム
一說 もかりまき

千年艾 ちぐさいぎく

野洲日光山ニ宿根ヲ叢シ高サ五六寸許葉ハ艾ニ似テ甚ダ小ク又菊葉ニ似テ細ク梢小ク黄花攅生シ味ヒ苦ク艾香アリ

一種 木曽御嶽の産 八
二品

一種 春のもの 九

一種 もゝやま

陰地蕨 いみわらび

九牛草 きうしもつき

牡蒿 をとこよもぎ 十

蔓荊 めもぐき

一種 うらもろき 十一

萇蔚 きつね

一種 白花益母 十二

薇衔 さいき

一種 くんしんさう 十三

鼓 朝鮮種

一種 白花の物

一種 千辨の物

曲節草 やまあい 十六

一種 山生の物

一種 みづおとこ

劉寄奴草 たいたちさう 十五

一種 細長葉の物

一種 筒咲の物 十七

旋覆花 をくるま

一種 かせんさう

一種 黄花のもの

一種 花絞りの物

夏枯草 うつかぐさ 十四

一種 白花の物

本草圖譜　卷之十四

濕草類

東都　岩崎常正　著

菌蕈蒿

茵蔯蒿　かちよもぎ

相州馬入川武州多摩川處々水邊砂地ゟ生ず宿根ゟ生ず冬元旦ゟ艾の葉ゟ似て細長く岐多く白毛ゟ夏月莖高さ二三尺梢の葉ハ小苗香の葉ゟ似ゟ莖の頭穗をなし花黃白色青蒿の花ゟ似ゟ葉芳香味微辛く此時珍説ところの山茵蔯なり一種莖紫紅色よて低く二尺許葉尚細きものゟ倶ゟ八九月嫩苗を採て藥用ゟ入れ漢土のそハ家圃ゟ栽て食料ゟもちゐ家茵蔯ゟもちゐ皆一物なり

黄花蒿（くそみんぎん）

海邊砂地ニ生ジ初生地ヨリ葉ノ青蒿ニ似テ細ク黄緑色臭氣アリ莖高サ三四尺穂青蒿ニ似テ黄花細小ナリ

青蒿の類（みんぎん）

海河の水邊ヨリ生ジ秋月実ヲ結ブ葉ハ茵蔯ニ似テ白毛アリ春ヨリ至テ莖高サ三四尺枝ヲ分チ穂ヲナシ茵蔯蒿花ニ似テ苗葉臭氣アリ神麹ヲ用ユルニ見ユ

一種　アブシンチュム　羅　和蘭　甸

冨山侯越中國より初て此物を得らる秋月実る生ひ葉ハ野菊に似て粗大根ハ小指の大さ冬を経て夏月高さ二三尺黄花蒿の形の如く花淡黄色下垂ル花実ハ細根莖ともに枯る花葉味甚苦く蒿の香ひ阿部櫟齋此を西洋のアルセムなんと云宇田川榕菴アフシンチュムと右根の物よて形も利異れと香味近けれ薬用もべしと云

白蒿　あさきそう

蝦夷より来る人家に栽るものあり右根より生ひ冬凋も莖高さ一二尺葉艾に似て甚く細く面背共に白毛ありて又茵蔯葉に似くり花穂ハ艾に似て白色あり味ひ微苦く艾香ひり薬頌の説も略

国立公文書館
National Archives of Japan

一種

おろよもぎ

佐渡の海邊より生ず葉ハ雞兒腸なるに似て鋸齒粗く厚くして西背皆白毛ありて莖高さ一尺餘穗をなして形あさぎりさうに似て粗く大ひなり此物人煮て漉ハ枯ることのなし

一種

かそ〳〵そこ

一名ゆきこうべ水邊所地よりり宿根より生ず葉ハ柳に似て厚く面背白色にして莖高さ二三尺梢より白花攅生し形蕎實に似り此物釋名の蕭多一種大葉の物にり又一種山そこ一名やまごぼうにり野州日光山より生ず葉薄くして兩頭尖り背ハ白毛にり白花多り

やまそこ

大葉の物

角蒿 ヘイベリキュム 羅甸 和蘭

和産を一和蘭ト、ニーハ云フ角蒿ト充ヘキ

ものなり其葉蕨蒿ニ似て角を結ぶ形長くして曲れい宗奭の説ニ結角長二寸許微彎セリト云符合セリ

一種 おもかげ

一名さるよもぎ ○実ル生ひ莖高さ一尺許葉ハ蓴ニ似て小く毛芽ありて又漏盧ニ似て方茎對生ス紅紫色ヲ帯ル花ヲ開ク後角ヲ結ぶ短くして尖リアリ葉味苦く酸焦氣アリ雷敩の説ニ紅蒿角短シトハ是ナリ

藘蒿

ろこう　いわさき

又をろまつり　野州日光山　武州高尾山
其外諸國山頂に宿根より生ず　葉の形
小菊に似て刺あり　又馬鞭草の葉に似て大なり
苗莖紅紫色を帯ず　莖高さ二三尺許梢に花
を開く　形馬先蒿きせるの如くして紅色を
後短く尖りて角を結ず　先葉より多く又きわ
あさき等を見るに非ず

馬先蒿　きせるぐさ

勢州経峯及江州伊吹山に自生ず　実ると生ず
又宿根より生ず　葉は艾に似て厚く深緑色　又芫荽
に似て尖り方莖對生す　高さ三四尺　葉の間に花を開く
益母花に似て大きく淡紅色　実も芫荽子に似て粗く藁
頌説ところ是なり　一種高さ一尺餘やゝ花実あるもの

一種　ちかまぎく

又たづさう尾州ともいふ山野の陽地よりわく根より生ひ葉は地楡の葉に似て鋸歯細密にして莖稜ありて高さ二尺許り秋初めに花を開く形大豆花に似て紅色後大りて角を結ぶ葉味辛く香氣菊に似て烏賊說ともいふ夏秋又白花の物野州日光山よりわく

一種

木曾御嶽山の産四葉對生紫花わく

一種

同産細葉淡紫の物

国立公文書館
National Archives of Japan

龍園月二手入

陰地蕨　ひめわらび

處々山中の陰地に秋月生ず葉蕨に似て冬凋ず一葉の側に一穂を生じ黄色栗粒の如く是実多く根細辛に似る

一種　春のさわらび

山中の陰地三四月花葉ともに生ず形状秋の陰地蕨に似て細歯にて葉の色淡緑色花穂高さ一尺餘に至る

蒲園藏書

一種　へびのちゝ

リユナリア　羅甸
ケレイヲマー
ニコロイト　荷蘭

蝦夷〳〵かげちゝよ產ひ
形狀石長生ゝ似て葉厚ー

一種　ももやちゝ

處々平原の地ゟ出ゝ細根
ゟ生ひ一莖一花穗の形やゝ
りゐ似てこれを振ふ黃色ゐ細
粉出ゝ

牡蒿

おとこよもぎ

山野ゟ出ゝ宿根ゟ生ひ葉ハ長くして赤の
鋸齒ありて鼠の足ゟ似ゝ故ゟ名ゟつくのてもゝ
圓莖ゟ生ー高さ三尺花穗菁蒿ゟ似て黃白色ゐ
ゝ又細葉のものを日光山ゟて赤沼よもぎゝ

一種

うらぐさ

もものうらぐさ　葉狹く長くして莖高さ三尺許花單瓣黃色
形野菊に似て葉の背白色味ひ苦く辛く艾蒿の

九牛草　もものうぐさ

宿根より生ず葉い菊に
似て闊く但粗き鋸歯
あり面緑色にして葉背白色
雲母の如し故に羽州米澤にて
きりぐさと云秋月莖高二
三尺枘に小黃花攢生す風に
形劉寄奴に似て味
苦辛く烈香ありて是藥用の
説に葉似艾葉圓而長背
有白毛而青しうらぐさ科に

蟄菜

白花の益母ニ似て苗葉荒蓉ニ似て圓く方茎對生以花ハ馬先蒿ニ似て白色多し

荒蓉　めそしき

原野海邊に多く秋月實を生ず初生の葉ハ鳥頭ニ似て長く其葉菊葉ニ似て尖りあり方茎對生して高さ四五尺葉の間ゟ淡紅花を開く形胡麻花ニ似て少し後小蕾と生じ中ゟ四子ありて又胡麻仁ニ似る漢土ゟ此を誤て巨勝子と名つけ渡せを非なり巨勝子ハ烏麻子なり

一種　そんごんさう

又やまおぎ　北國ともいふ　播州及野州日光山武州秩父山
よりいづ　春月宿根より生ず葉は蘭草に似て狹く圓茎よ
互生ず夏秋の間茎高さ四五尺枝ありて數十花攅生ず單瓣
小き菊花の如く葉味ひ微苦く微香あり是大五風草
ともいふ時珍いはく寄奴草と充つ

薇銜（ゐかん）　さいぎゃう　紫州

又やまおぎ　山中陰地に秋月生ず冬月苗地に揚りて凋む形菊の葉よ
似て尖りてもむ圓茎その中空うして互生ず夏月茎高さ二三尺紫黒色うすき毛
莖ありて枝ありて數花集り開く形素吾子の花に似て甚だ小く又そんごんさうに似て又
小く單瓣の黃色あり焦氣ありて味微苦辛く是葅菜說の小異風草なり附錄の無
莖悉く同物なりうろぎく莖の中空うして竹管の如し

一種　黃花のもの

勢州布引山ニ生ズ紫苑の類ニ非ズ葉ハ紫苑ニ似テ短ク又ごんさいと似テ岐ル花ハごんさいと同シ蝦夷ニもアリ

夏枯草

うつかくさ

山野ニ自生多ク秋苗葉ヲ生ズ莖ハ車前子葉ニ似テ小ク微シク鋸歯アリ方莖對生ス冬ヲ經テ春ニ至リ高サ一尺餘枝ノ穗ノ如キ形狀ハ絞リの如ク鱗甲アリ長二三寸花紫色唇の形ニシテ夏月蕃茂枯ル側ニ苗ヲ生ズ一種白

絞リのもの

白花の物

朝鮮種

花の物楢州より一種紫白相雑り開く物あり一種寛政癸丑年唐種夏枯草の実を持渡り此を栽て生じ開ちうがくさのごとく又近ごろ朝鮮種の夏枯草あり和産うつがくさと同し但花淡紫色おそて毛茸あり紹興備急本草に圖もる處の滁州夏枯草是なり奇説さうよしくいふ草を充つ牧荒本草の圖よく似れども夏枯草の類よりけん

劉寄奴草　秋のきりんさう

江戸そこいらの山ならさうと云山野に多し春宿根より生じ紫莞葉よく似てしく淡黄緑色圖茎互生秋月茎高さ二三尺梢に枝を分ち穂をおもに萄花を攅て短小黄色なり後白苞ある味辛艾香あり全瘡ともに用て効あり此物備急本草圖もる処の陰州劉寄奴の形と全く又薇蒌蒁傾説ところの皆是なり

曲節草（きょくせつそう）　やまあい　メリソウス　和蘭

野州及諸國山中より宿根より生ず圓莖對生ス葉ハ藜藍ニ似深綠色色澤ヒ四時凋ム夏秋の間より碎白花ヲ生ス後小き毬實ヲ結ぶ青綠色根上の莖必ず曲り生ず此物諸草より青綠色あるゆへやまあいと云漢土にて蛇藍と云又根上の節曲るを以て曲節草と名つく

旋覆花 をくるま

山野の濕地に生ず
白毛の鬚根赤し
延て春月苗を生ず
夏月莖高さ二尺許
枘に花ひとつ單瓣黃
菊に似て細し

一種 千瓣の物

一種 筒咲の物

一種 山生の物

葉短小にして硬く花も尋常の品に同し

本草圖譜卷之十五目録

濕草類

青箱 のびゆ	一	鴈來紅 をけいとう
鴈來黃	三	十樣錦 ふうきけいとう
雞冠 ときかけいとう	四	一種
一種 さきつけいとう	五	一種 ろうらくけいとう
一種 やりいとう	六	一種 ちやかいとう
一種 みきけいとう		紅藍花 べにばな

一種 かせんそう
花小さくして
葉長大花
単辨なり

一種 つづらそう
水澤中に生ず
花千辨なり

番紅花　サフラン　九
一種　一種　そまあさ　十一
小薊　のあざみ　十二
一種　さいあざみ
苦芙　ひめあざみ
一說　きつねいき
一種　白花らんぎく
大薊　やまのあざみ　十
一種　ふじあざみ　十三
續斷　をこうさう　十四
漏蘆　ひきよもぎ　十六
一說　らんきく
一種　たまぼうき
一種　てうせんのぎく　廿一
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一說　廿五
一種　のまと　廿七
一種　ちぐさ
一種　ちせんぎく　廿三
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一種　ちせんぎく　廿三
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一說　廿五
一種　のまと　廿七
一種　ちぐさ
一種　ちせんぎく　廿三
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一說　廿五
一種　のまと　廿七
一種　ちぐさ
一種　ちせんぎく　廿三
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一說　廿五
一種　のまと　廿七
一種　ちぐさ
一種　ちせんぎく　廿三
一種　ひめひまわり　廿二
一種　くまとうろう　廿三
一種　白花たまぼうき、廿四
一說　廿五
一種　のまと　廿七
一種　ちぐさ

本草圖譜　巻之十五

濕草類

東都　岩崎常正　著

一種　艾九　苘麻（ちょま）　いちび

一種　いちび　胡麻（こま）　ふうまめ　世

青葙　のけいとう

春月實を種て生ず葉莖雞冠花に似て葉の間に鍔の如き葉を生ず秋月高さ三四尺梢に穗をなして花を開く本白色のもの淡紅色のもの又青白色黃色等の品あり野州藝州四國九州みなあるよし國により花色の異なり又攝州和州日野ほこれなり寺嶋良安云り

桃朱術所録二說ところの蕭炳說ところの黃花の青葙なり藏器說ところいまだけまくうて菜の部に紫莖菜あり

本草圖譜卷之十五

鷹來紅

國會圖書館
National Archives of Japan

鴈来黄　秘傳花鏡

きくらいよう人物の葉
緑色ありて秋月よ至り
稍ゝ黄色の葉を生ず

蘭園門弐

鴈来紅

そけいとう

此類ごま実より生ず葉に莧よ似て
紫黒色秋よ至て頂よ紅色の葉を
生ず一名秋葉　明薗圃草木識よ

蘭園門

雞冠（けいかん）

とさうけい

春月實ゟ生ル葉ハ莧菜ニ
似テ尖リ其花紅色形鷄
の冠ニ似ル

十樣錦（じゅうようきん）

ふーき（はいいろ）

春の葉緑色
のちあかきいろ
後紅色黄色の
葉雜り生ル

一種

矮生小花雞冠の如きもの

一種　さきつけ

形雞冠の如くみぢかく紅白雜り開くもの

又紅黃雜り開くもの

と二品ゐる漢名二色雞冠花史編ごと

一種　ちりけいとう

花の形圓くつゝて尖り青菊の如く猪の尾よ似くう紅色又紅白雜るもなり漢名掃帚雞冠　花史左編

一種　ちりけいとう

花の形雞冠よ似て細く切て下垂紅黃白雜り開くものゝ

一種　ちやかけいそう

苗矮短ふさ〳〵て五六寸ようて花を開く形やすけいそうの如し

漢名壽星雞冠　群芳譜

一種　ふさけいそう

ちやほけいそうの類ようて葉より白斑ありて頗る鳳凰來紅う如く花いやけいそうの如し

紅藍花　くれのあい　和名鈔

即ち紅花なり自生多し羽州最上より多く他る秋月實を種小葉の葉ようて似て小く岐多し蜜國の産ようり和蘭の書物印忙ようて着色の圖數種ありて其種類の形狀葉ハ山慈姑ようて似て細く根又山慈姑水仙等ようて似ようり中心一莖を抽て未ようて一花を開く六瓣形山慈姑ようて似て大さ二寸許紫色ようり或ハ黄或ハ白色ありて紫の斑ありて花の中ようて又一蕊ありて一方尖りたり種ようて又油を取る

莖高さ三四尺枝ようて三蒂を生じ形未花ようて似ようり花初黄色後紅色ようり早朝ようて花瓣を摘て藥用ようて又燕脂を製ず後毬中ようて實を生じ白色ありて一方尖りたり種ようて又油を取る

番紅花　チヤフラン　羅　サフラーン　同　上

今畧してきやうんと和漢ようて蜜國の産ようり和蘭の書物印忙ようて着色の圖數種ありて其種類の形狀葉ハ山慈姑ようて似て細く根又山慈姑水仙等ようて似ようり中心一莖を抽て未ようて一花を開く六瓣形山慈姑ようて似て大さ二寸許紫色ようり或ハ黄或ハ白色ありて紫の斑ありて花の中ようて又一蕊ありて一方尖りたり種ようて又油を取る

紅赤色の三葉にようて採藥用ようて肥前長崎中嶋氏云サフラン三品にようり單ようてきやうんと呼ぶ

よき山慈姑ようて似ようり草ようて番紅花ようて紅毛ようてやさうんと云物寛政十一年始て紅毛小舶ようて帶来る漢渡の物ようり鮮紅色ふさようて香氣強く瓣長く上品ようこれ細目の番紅

花もくさぐさの形狀大よそ違ひなんでやさぐさの紅花の如く見ゆ此物紅毛の說効能も番紅花の効と相近し又別よさそうさぐさの物なりこれ紅花のさぐさに見ゆとぞ又云其効經行不順催生の藥よし又胎衣を下し痘瘡痲疹よ服用してよろし常正云坤輿外記云雜服蘭い香草也此物最喜食蜜養蜂家四周種雜服蘭即佛教入ともり

番紅花（くろくく）

以下十一種

国立公文書館
National Archives of Japan

大薊　やまあざみ

葉よく白き斑有る物

黃花の物

春宿根より生ず葉多く岐り刺有り白き斑有り無き物も有り高さ四尺秋花を開く形紅花に似て紫色也根牛房に似たり

一種　そなれあざみ

花紅色白色又紅白雜色のもの數品有り又豆州熱海に黃花物有り

つま紅

つま白

つばき色

白

つまむらさき

一種

〳〵ざこのざこ

茎紅色よて特生せそて地よ擱り葉黄〳〵緑色ありて
刺多く光澤ありて花淡紅色あり一說よ紀州土州阿州等の
海邉よ多く產し根形色氣味牛房の如く土人そま
こりうと呼ひ菜よなして食味佳ありと云此類あり猶
蘭よても食料ようふ

小蘭　のあざみ

道の傍又堤などに多く生ず嫩苗は葉も莖も軟かく地に布苦苣の葉に似て刺ありて長く莖を生じ莖葉少く花淡紅色なり

一種　ふじあざみ

甲州又駿州富士の裾野に生ず土人あざみと云又豆州にていとこぞうと名付け食料とす味甘房は似ず又大小嶋菊に平く云ふ生ずる小蘭の葉に似て大さ七八寸長さ三四尺花大にして天目の如し其房雞の頸毛の如く花紫色ふさ〳〵して側に向ふ根又牛房に似たり

一種　さいあさこ

原野水傍より實ろ生ル一年を経て高さ五六尺揃ふ數花下垂レ花の形鹿庸ふ似て淡紫色後白茹ふ多きりこれ釋名の雞頂草多り

續斷

山野陰地ふ宿根ろ生ル莖い芋麻ふ似て小く歟ゝ方莖對生ゝ毛葉多ゝ苗地ふ揃も春月葉高さ二尺許揃ふ莖の間ふ花ろ形益母花ふ似て大ゝ初淡紅色後紅色ふゝ根の形牛膝ふ似て赤褐色多り

苦芙　いのこづち

山谷の間に生じ春月宿根より生じ葉は苦苣菜に似て岐ゐ毛のゆゐる刺ありて圓莖豆生じ高さ三尺餘に花は菊花に似て淡紅色後白茹にも加州にて嫩苗葉を採食ふ故にともるゝ

漏盧　ひきよもぎ

集解に數種ありと藥恭嶺時珍説ところの莢蒿又鬼油麻は真の漏盧にあらず和産は武州嵐山下總小金の原に多く諸國原野陽地に生じ秋月實をうち生じ苗初地を擢んで春より至りて萱を起し圓莖に對生して搓渋ありて葉は野艾蒿に似て小く紫色を帶ぶ秋月莖高さ三尺枝を分て穗をなして花黄色にして形唇の如く赤小豆花に似たり後莢を結ぶ長さ四五分堅に條理ありて胡麻の房に似て細長にして枝幹枯るゝ黒色にして根は蒿根の如く弘景説ところの鹿驪根毒草類に出る木黎盧にして漏盧にあらず藥恭これを雜ぜ藏器如山茱萸樹而有毒殺蟲云々もの又木黎盧にあらず是亦漏盧に非ず

一説

藥頌の説に沂州者形葉頗似牡丹と云又備急本草所載の圖見るに又きふねきく

ひきよもぎ

一説　らんき〳〵

葉頌の説よ秦州者似単葉寒菊紫色〳〵是あり又あるよりも漢名五月翠菊 秘傳 花鏡 と云野州布引山よ自生ひ秋月苗を生し雞児腸よも似て潤く五六月茎を抽て一尺許よ至花あり単辨〳〵て紫碧色又白花もひ形よも多よ似て肥ひ根蒿の如くうて肥て黒褐色あり

一種　いそこき〳〵

又ひの志ゐんきく〳〵ともふ殿山無動寺又木曾山中よもわく葉いらくきく〳〵よも似て甚〳〵小く圓く小指頭の大さよも鋸歯ひ花も似て小〳〵

白花らんき〳〵

一種　たまき〳〵　尾州方言

葉厚く光澤ありて高さ六七寸
許より枝を分ちて白色の花を開
形らんきくに似て其蕾甚だ
圓くして珠の如く緑色をな

ろうたけこう

一說　るうひこたい

漢土より古よう飛席一名漏盧と云ふ因て牧荒本草の圖ももひこたいと載て漏盧とし今舶来の漏盧皆ひなさいの根を以て漏盧として藥用とするハ誤り集解に馬志云今人以馬蘭似苦芙者為漏盧亦非也と云見るとるうひこたい又平江蒂大和本草とも云ふ雞項草の葉に似て厚く背ハ白綿ごう又敗醤の葉に似て遥ふに毛刺あり秋月高さ三四尺梢ハ三四房を生じ圓くて栗の毬のごとく蘭類の花に異なり雑り紫碧色多く故るうひこさいと云茎葉枯るゝ時ハ黒色となり秋又舊根より葉を生じ葉味ひ苦く根黒色牛房に似て細く味ひ甘し

一種　そうせんあざみ

蠻名スコレイミユス　羅甸キユルデユスステル　荷蘭　荷ハ云ひこさいの類にて蘭の類に非ず宿根より生じ葉ハひこさいに似て長大二尺許岐だて刺ありて背ハ白毛あり夏月茎を抽ゝて三四尺梢ハ一花を開く房大なること三寸紫花の蘂を吐ひ形蘭花に似て根もひこさいに似て肥大なり

一種

そうせんあざみ

山野に生ず花も小く花ハ紫紅色にして泥胡菜に似て堅し葉ハ支多し

一種

ひめむかい

形狀丁子のひこばえに似て葉は花又多く三七の葉に似て花淡紫色

一種

ときひれん

武州大箕谷八幡山中より採る宿根より生ず葉はきくやまきくに似て厚く茎はひれふすにひれあさざうに似う

一種　くまとうがらし

葉はかうよ似る

実又やまこうらも
り葉の背白色午
房ま似て尖りり窩根
ら半一秋月一茎直
上まま花ら雑貢
草の形ま似て蒂肥
大ふて刺多く深紅
色の花の葉ら根
ひごくいま似て細く此
葉ま乾し揉て艾ま
雑へ又信州の土人
嫩苗ま菜蔬と
し

一種
加州の産

一種

たまゐらき

先葉此物を以て単州漏盧と云ふ穂を以て山野に宿根す

生ひ葉小薊に似て軟かくして刺多く茎高さ三尺許梢に三五蕾を生ず形薊花に似て淡紅色多く又白花のものあり形状同じ

一種

白花たまゐらき

飛廉

とれひぐさ

秋月實より生ず葉ハ苦苣に似て花又ハ細き刺甚多く莖ハ直葉ハうすく箭羽の如く夏月高さ三四尺に至ハ花ハ薊花に似て紅色多く又白花もあり花謝して白毛如くなる

澁川氏藏

一說

藘菥の說ハ一種生山岡上者葉頗相似而無刺缺多毛其莖赤無羽其根直下更無旁枝云物ハ山野ハ稀ハ生ずる薊多く春月宿根より生ず葉ハ飛廉に似て厚く莖赤く高さ三四尺枝なく箭羽の如く秋月花ハ小薊花に似て淡紅色多く根直下して午房の如くふとくして長く

岩國藏

苧麻

からむし　和名鈔

まゝハ原野向陽の地ゟ多く生ひ葉ハ楸ゟ似て岐あり形紫蘇の如く背白色圓莖ゟ直生ニ梢の葉の間ゟ穗を生ひ形孛落樹ゟの花ゟ似て穗ゟ枝を生し黃白花を開く甚細小なり此を圃中ゟ培養するを家苧麻と云昌白苧なり此皮ゟて織制衣ニ夏布ゟなして越後及羽州米澤名産なり

一種　のまを

山野道の傍ゟ多く生ひ葉ハ苧麻ゟ似て孛く大ふして對生ニ背ゟ白毛あり絲あり穗直立ニて肥大なり根を備中ゟて食ゟと云

一種　らせいさう

葉ハ苧麻ゟ似て孛く狹く長葉の頭両尖りて岐多く背ハ緑色圓莖對生ひ穗ハまゝの如し此類皆野苧なり

一種　やぶまを

山足ゟ生ひ葉ハのまを似て圓ニて大さ掌の如く又紫蘇ゟ似て面淺緑色背ゟ白毛ありて圓き莖ゟ互生ニ秋月莖高さ七八尺枝を分ち梢の葉の間ゟ穗を生ひ細莖ふして下無小き碎ゟ白花

のまと

一種　のまと

形狀そまるに似て莖細く赤色ふくて粗し

一種　こづくり　相州方言

又ぞろ〳〵のき　豆州方言ともいふ、相州原野に多く舊莖枯ふくて灌木の如く高さ一尺ゟ及ふ春發幹ふる生ひ葉小苧麻に似て小く薄く微紅を帶て尖り莖紅色ふくて細く兩對ひ秋月梢の葉の間ゟ穗ふる生ひ又苧麻に似て長さ三四寸下無ひ葉の味甘し是紫苧の屬ふり

一種　いいかね

近年紀州ゟ來る種小木ふり葉いぞろ〳〵のきに似て長く毛茸ふり又野海棠ふるに似て五生ひ高さ二三尺春月葉の間ゟ小花を開く苧麻花ゟは異ふり

やふまを

らせいさう

いとかね

錦小路頼理和訓抄ニいそうと漢名未詳
紀州ニて岩石の間ニ生ず葉の形苧
麻ニ似て花を開くと云

ろくさ

苘麻
いちひ

春月實を植高さ三四尺圓莖互生し葉は白桐に似てやゝ小く又積雪草葉に似て大なり夏五瓣の黄花を開く形蜀葵の花に似たり後房を結ぶ數十の莢一處に周りつき車輪の形をなす熟して黒色となり中に黄色の仁あり此物幹枯るゝまで実をむすび生ず葉は狹長にして麻葉樹の葉に似て又長く又子午花ぶしの葉に似て長大なり圓莖互生高さ四五尺夏月五瓣の小き黄花を開き後房を結ぶ形螃蜞の糞に甚だ髣髴たり中に小き黒子あり此皮を剥採席を織り繩となす

一種
いちぶ

胡盧巴

ふぐまめ　神田氏

フーニュムガラヨク
ムヲキリーキ　荷蘭

集解ヶ番羅菊子ょり名ょ因て多識編ょうんでんだいこんと訓もるい非ず此物和産る享保年中唐種渡り今處ゝ官園ょ多く春月實ょ下して生ル葉い苜蓿ょ似て小く圓く互生ル莖長さ二尺許夏月葉の間ょ花を開く深黄色赤小豆花ょ似くう後角ょ結ふそ一分餘長さ寸中ょ實ありて紫雲英ょ仁ょ似て大ょ黄白色此莢ょ集め乾もそくさい馥郁る香氣ありて草零陵香の屬と見ゟ

国立公文書館
National Archives of Japan